

由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

～ 次 第 ～

1 開 会

2 あいさつ

会長 由利本荘市長 湊 貴信

3 報 告

報告第1号 令和3年度 由利高原鉄道（株）実績報告並びに
令和3年度 由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告について

4 議 事

議案第1号 令和3年度 地域公共交通活性化再生協議会事業報告について

議案第2号 令和3年度 地域公共交通活性化再生協議会決算承認について

議案第3号 令和4年度 地域公共交通活性化再生協議会予算（案）について

議案第4号 乗り[逢い]交通事業の運行内容の変更について

議案第5号 令和5年度 生活交通確保維持改善計画（案）について

5 その他

6 閉 会

令和 4 年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

【委員】

(※備考欄の職氏名は本日の代理出席者)

区分	所属	職名	氏名（委員名）	備考
1 号	由利本荘市	市長	湊 貴 信	
2 号	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社	総務部長	酒 井 宏 彰	総務部企画室副長 千田 隼
	由利高原鉄道株式会社	代表取締役社長	萱 場 道 夫	運輸課長 真坂 美幸
	羽後交通株式会社	取締役社長	齋 藤 善 一	事業本部輸送課長 金谷 文之
	一般社団法人秋田県ハイヤー協会	本荘由利支部長	小 石 和 弥	
	秋田県由利地域振興局	建設部長	備 前 亨	
3 号	由利本荘警察署	署長	持 主 美 彦	交通課長 佐々木 宏樹
	国土交通省東北運輸局	鉄道部長	齊 藤 仁 伸	
	国土交通省東北運輸局	秋田運輸支局長	玉 田 紀 之	首席運輸企画専門官 小林 弘典
	秋田県観光文化スポーツ部	交通政策課長	小 松 鋼 紀	主幹兼班長 篠村 進
	秋田県由利地域振興局	総務企画部長	土 門 久 仁 子	
	由利本荘市商工会	会長	佐 藤 久 美	
	由利本荘市観光協会	会長	猪 股 春 夫	
	秋田しんせい農業協同組合	代表理事組合長	小 松 忠 彦	
	一般社団法人由利本荘医師会	会長	渡 邊 廉	欠席
	由利本荘市教育委員会	教育長	秋 山 正 毅	教育次長 三浦 良隆
	由利本荘市校長会	会長	高 野 睦	
	由利本荘市 P T A 連合会	会長	小 番 正 和	欠席
	由利本荘・にかほ地域生徒指導研究推進協議会	高校部会長	熊 澤 耕 生	
	由利本荘市身体障害者協会	会長	三 浦 良 明	
	由利本荘市婦人団体連絡協議会	会長	土 田 典 子	
	由利本荘市老人クラブ連合会	会長	前 川 伴	
	公益社団法人由利本荘青年会議所	理事長	大 越 雄 一 郎	
	鳥海山ろく線運営促進連絡協議会	会長	佐 藤 久 美	
	由利本荘市企画振興部	部長	今 野 政 幸	
	本荘地域公共交通利用者		大 竹 悦 子	
	矢島地域公共交通利用者		菅 原 賢 一	欠席
	岩城地域公共交通利用者		今 野 正 樹	

【委員】

(※備考欄の職氏名は本日の代理出席者)

区分	所属	職名	氏名（委員名）	備考
3号	由利地域公共交通利用者		多 田 厚	
	大内地域公共交通利用者		菊 地 洋	欠席
	東由利地域公共交通利用者		長 谷 山 博 昭	欠席
	西目地域公共交通利用者		鷹 島 恵 一	
	鳥海地域公共交通利用者		高 橋 荘 一	欠席
	秋田大学	准教授	日 野 智	欠席
	秋田県立大学	准教授	星 野 満 博	

【事務局：地域づくり推進課及び各総合支所】

所属	職名	氏名	
企画振興部 地域づくり推進課	課長	佐 藤 弘 幸	
	班長	田 口 侑 樹	
	主任	平 澤 裕 一 郎	
矢島総合支所 市民サービス課 振興班	主査	秋 山 茜	
岩城総合支所 市民サービス課 振興班	主査	斎 藤 正 晴	
由利総合支所 市民サービス課 振興班	班長	伊 藤 善 裕	
大内総合支所 市民サービス課 振興班	主席主査	小 助 川 健 志	
東由利総合支所 市民サービス課 振興班	主査	佐 々 木 亮 介	
西目総合支所 市民サービス課 振興班	主査	大 友 春 奈	
鳥海総合支所 市民サービス課 振興班	参事兼課長補佐兼班長	佐 藤 錠 司	

令和 3 年度 由利高原鉄道（株）実績報告並びに 令和 3 年度 由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告について

1. 由利高原鉄道

市の助成額：95,714,318 円（前年度 98,134,773 円）

【内 容】由利高原鉄道㈱の運営費として、前年度（令和2年度）の経常損失額を補填する補助金

※うち県補助額＝18,000,000 円（上限）

2. コミュニティバス

運行経費：128,595,202 円（前年度 127,056,418 円）

【実施地域】市内全8地域（本荘、矢島、岩城、由利、大内、東由利、西目、鳥海）

【実施形態】市街地内の循環バスのほか各集落と診療所、商業施設、公共施設などを結ぶ定時定路線型運行（一部定時定路線型予約運行あり）

※うち国庫補助 15,191,000 円、県補助額 26,132,000 円

※コミュニティバスの乗車実績参照

3. 羽後交通路線バスへの補助金

市の助成額：116,100,000 円（前年度 111,301,000 円）

【実施地域】市全域

【実施形態】生活バス路線の運行にかかる経費の赤字の補填として、バス事業者に対して支払う補助金

※うち県補助額＝266,000 円

4. 運転免許自主返納者支援制度

市の負担額：248,000 円（前年度 261,600 円）

【実施地域】市全域

【実施内容】高齢者の事故防止を図るため、運転免許証自主返納者にコミュニティバス運賃の半額を支援

(参考) 上記 1 ～ 4 の経費、補助金等の集計

項 目	A. 市が負担する 運行に係る経費 (1～4の合計額)	B. 国・県補助金	C. 運賃収入	D. 市が負担する 実質経費 (A－B－C)
鉄 道	95,714,318	18,000,000	—	77,714,318
バ ス	244,943,202	41,589,000	12,082,600	191,271,602
合 計	340,657,520	59,589,000	12,082,600	269,985,920

(参考) 「B 国・県補助金」の他、「地方バス路線運行維持対策費」として
特別交付税（一般財源扱い）が 149,862,000 円参入されている。

(上記「D」－特別交付税＝120,123,920 円)

○輸送人員 (単位：人)

	定期外								定期外計	定期		定期計	総合計
	矢島	前郷	本荘	本社扱い	普通計	ワンマン	回数券	団体		通勤	通学		
令和2年度(37期)	9,515	1,890	10,864	2,005	24,274	5,316	8,426	4,780	42,796	19,832	68,842	88,674	131,470
令和3年度(38期)	8,916	1,692	12,494	1,159	24,261	3,435	3,817	4,914	36,427	18,440	114,556	132,996	169,423
対前年差	Δ599	Δ198	1,630	Δ846	Δ13	Δ1,881	Δ4,609	134	Δ6,369	Δ1,392	45,714	44,322	37,953
対前年比	93.7%	89.5%	115.0%	57.8%	99.9%	64.6%	45.3%	102.8%	85.1%	93.0%	166.4%	150.0%	128.9%

○運輸収入 (単位：円)

	定期外								定期外計	定期		定期計	総合計
	矢島	前郷	本荘	本社扱い	普通計	ワンマン	回数券	団体		通勤	通学		
令和2年度(37期)	3,465,900	636,217	3,782,755	3,313,717	11,198,589	1,523,102	3,285,461	4,196,175	20,203,327	3,694,003	9,497,762	13,191,765	33,395,092
令和3年度(38期)	3,698,688	639,561	4,766,237	4,884,362	13,988,848	1,020,320	1,203,917	3,276,676	19,489,761	2,762,040	10,258,092	13,020,132	32,509,893
対前年差	232,788	3,344	983,482	1,570,645	2,790,259	Δ502,782	Δ2,081,544	Δ919,499	Δ713,566	Δ931,963	760,330	Δ171,633	Δ885,199
対前年比	106.7%	100.5%	126.0%	147.4%	124.9%	67.0%	36.6%	78.1%	96.5%	74.8%	108.0%	98.7%	97.3%

※本社扱い：通販・車内販売の販売扱い

令和 3 年度 由利本荘市コミュニティバスの乗車実績

報告第 1 号

対象期間：令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月

下段（）内は令和 2 年乗車実績

地 域	路 線 名	令和 2 年度 運行内容	路線別			地域別		
			運行便数 (便)	乗車人数 (人)	乗車率	運行便数 (便)	乗車人数 (人)	乗車率
			①	②	②／①	③	④	④／③
本 荘	循環バス（御門町）	毎日運行（日祝 5 便） 1 日 9 循環	3,008 (3,013)	11,563 (10,611)	3.8 (3.5)	7,381 (7,388)	24,469 (22,237)	3.3 (3.0)
	循環バス（八幡下）		3,008 (3,017)	10,926 (9,936)	3.6 (3.3)			
	子吉線（西地区）	週 2 日運行 1 日 7 便	672 (672)	1,180 (887)	1.8 (1.3)			
	子吉線（東地区）		693 (686)	800 (803)	1.2 (1.2)			
矢 島	桃野線	週 3 日運行 1 日 2 便	292 (292)	15 (47)	0.1 (0.2)	292 (292)	15 (47)	0.1 (0.2)
岩 城	岩城線（君ヶ野行き）	週 5 日運行 1 日 1 2 便	1,452 (1,458)	4,630 (4,545)	3.2 (3.1)	3,674 (3,696)	9,502 (9,531)	2.6 (2.6)
	岩城線（滝俣行き）		1,452 (1,458)	3,895 (3,987)	2.7 (2.7)			
	南沢線	週 3 日運行 1 日 4 便	572 (588)	727 (745)	1.3 (1.3)			
	道川北線	週 2 日運行 1 日 2 便	198 (192)	250 (254)	1.3 (1.3)			
大 内	中田代線	毎日運行（土日祝 8 便） 1 日 1 2 便	3,916 (3,904)	8,437 (8,731)	2.2 (2.2)	9,018 (9,006)	14,510 (15,305)	1.6 (1.7)
	高尾線	毎日運行（土日祝 8 便） 1 日 1 0 便	3,350 (3,350)	4,227 (4,686)	1.3 (1.4)			
	羽広－軽井沢線	週 6 日運行 1 日 6 便	1,752 (1,752)	1,846 (1,888)	1.1 (1.1)			
東由利	八塩線	週 5 日運行 1 日 7 便	1,715 (1,715)	2,182 (2,221)	1.3 (1.3)	2,801 (2,910)	3,002 (3,420)	1.1 (1.2)
	法内線	週 3 日運行 1 日 7 便	1,015 (1,036)	722 (911)	0.7 (0.9)			
	大吹川線	週 2 日運行（全予約制） 1 日 4 便	71 (159)	98 (288)	1.4 (1.8)			
西 目	西目線	週 6 日運行（土曜 4 便） 1 日 1 0 便	2,604 (2,630)	2,070 (2,353)	0.8 (0.9)	2,604 (2,630)	2,070 (2,353)	0.8 (0.9)
鳥 海	伏見笹子線	毎日運行（土日祝 8 便） 1 日 1 2 便	3,876 (3,884)	4,396 (4,786)	1.1 (1.2)	9,366 (9,277)	7,588 (8,441)	0.8 (0.9)
	伏見笹子線（新沢平経由）	週 2 日運行 1 日 2 便	186 (194)	348 (372)	1.9 (1.9)			
	中直根線	毎日運行（土日祝 5 便） 1 日 8 便	2,556 (2,548)	1,562 (1,814)	0.6 (0.7)			
	猿倉線	週 5 日運行 1 日 6 便	1,314 (1,205)	238 (404)	0.2 (0.3)			
	皿川線	週 5 日運行 1 日 6 便	1,434 (1,446)	1,044 (1,065)	0.7 (0.7)			
合 計			35,136 (35,199)	61,156 (61,334)	1.7 (1.7)	35,136 (35,199)	61,156 (61,334)	1.7 (1.7)

【市コミュニティバス 運行費実績】 対象期間: 令和2年10月～令和3年9月

報告第1号

No.	地域	路線名	系統数	道路運送法区分	運 行開始日	運行費用	運行収入	市負担額	国庫補助額	県補助額	市実質負担額	備 考
						(A)	(B)	(C)=(A)−(B)				
1	本 荘	循環バス	2	4条	H27.10.1	23,157,792	4,251,400	18,906,392	4,565,000	3,930,000	10,411,392	
2		子吉線	4	4条	H28.10.1	7,155,084	367,400	6,787,684	999,000	860,000	4,928,684	
3	岩 城	岩城線	4	4条	H24.4.1	15,495,817	1,797,100	13,698,717	0	3,701,000	9,997,717	
4		南沢線	2	4条	H15.4.14	1,085,020	151,400	933,620	0	374,000	559,620	
5		道川北線	1	4条	H27.10.1	282,826	45,400	237,426	58,000	50,000	129,426	
6	大 内	高尾線	2	79条	H24.4.1	11,349,073	937,200	10,411,873	0	4,256,000	6,155,873	
7		中田代線	2	79条	H28.4.1	14,836,153	1,745,200	13,090,953	3,633,000	3,127,000	6,330,953	
8		羽広一軽井沢線	29	79条	H28.4.1	10,950,802	380,100	10,570,702	1,202,000	1,401,000	7,967,702	
9	西 目	西目線	1	79条	H23.4.1	5,610,436	372,900	5,237,536	1,756,000	1,511,000	1,030,000	
10	鳥 海	伏見笹子線	7	79条	H24.4.1	13,765,069	908,400	12,856,669	0	3,289,000	9,567,669	
11		猿倉線	1	79条	H19.10.1	1,622,769	41,400	1,581,369	0	0	1,581,369	
12		中直根線	4	79条	H19.10.1	7,246,684	309,000	6,937,684	0	234,000	6,703,684	
13		皿川線	1	79条	H19.10.1	2,895,403	205,700	2,689,703	0	836,000	1,853,703	
14	矢 島	桃野線	1	79条	H24.10.1	1,388,688	5,400	1,383,288	0	0	1,383,288	
15	東由利	八塩線	2	4条	H28.10.1	6,794,259	387,100	6,407,159	2,287,000	1,968,000	2,152,159	
16		法内線	3	4条	H28.10.1	3,717,464	148,700	3,568,764	691,000	595,000	2,282,764	
17		大吹川線	7	4条	H28.10.1	1,241,864	28,800	1,213,064	0	0	1,213,064	
合 計			73	路線数17		128,595,202	12,082,600	116,512,602	15,191,000	26,132,000	74,249,066	
令和2年度合計			73	路線数17		127,056,418	9,067,660	116,612,750	15,191,000	23,837,000	77,764,576	

※本表は「秋田県生活バス路線等維持費補助金」対象期間で算定。

令和 3 年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会 事業報告について

【協議会開催】

- ◆令和 3 年 6 月 15 日通知（書面協議）
 - ・令和 2 年度事業報告、決算並びに令和 3 年度事業計画、予算
 - ・令和 4 年度 生活交通確保維持改善計画（案）
 - ・岩城地区「岩城線」の路線変更
- ◆令和 3 年 9 月 6 日通知（書面協議）
 - ・鳥海地域「伏見笹子線」「伏見笹子線（新沢平系統）」「中直根線」「猿倉線」の路線変更
- ◆令和 4 年 1 月 17 日通知（書面協議）
 - ・令和 3 年度 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）に関する評価
- ◆令和 4 年 3 月 2 日通知（書面協議）
 - ・由利高原鉄道（株）第 38 期実績報告（令和 3 年度）並びに令和 3 年度由利本荘市コミュニティバス等運行実績報告
 - ・由利本荘市における持続可能な交通サービス共同研究の中間報告
 - ・由利本荘市地域公共交通網形成計画の実施事業等の検証
 - ・乗り[逢い]交通事業の運行範囲拡大（本荘地域石沢地区）
 - ・令和 4 年度由利高原鉄道生活交通改善事業計画（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業「令和 3 年度補正」）

【分科会開催】

- 地域公共交通活性化再生協議会分科会（令和 4 年 1 月 17 日書面協議）
 - ・由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）実施事業等の検証

【事業内容】

- ・1 月の分科会で報告したとおり網形成計画に定める各種事業を推進した
- ・特に、路線バスとコミバスの接続強化や対話会、乗り[逢い]交通導入などに注力して成果を得られた
- ・由利高原鉄道の通学定期代の割引きにより、大幅な利用者増となっている

令和 3 年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会決算書

歳入総額 223,001 円

歳出総額 223,001 円

差引残額 0 円

1 歳入

(単位：円)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	比較増減	摘要
1 負担金	223,000	223,000	0	由利本荘市より
2 諸収入	1,000	1	△ 999	預金利息
合計	224,000	223,001	△ 999	

2 歳出

(単位：円)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	比較増減	摘要
1 事業費	222,000	130,874	△ 91,126	網形成計画事業の実施 分科会の開催（書面協議）
2 返還金	1,000	92,127	91,127	由利本荘市へ
3 予備費	1,000	0	△ 1,000	
合計	224,000	223,001	△ 999	

監 査 報 告 書

令和3年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会の収入、支出について
監査した結果、関係諸帳簿、証票に適合し、かつ適正であることを認めましたの
で報告いたします。

令和 4 年 6 月 20 日

監査委員 小、石 和 弥、

監査委員 多 田 厚

令和 4 年度 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会予算（案）

歳入総額 224,000 円

歳出総額 224,000 円

差引残額 0 円

1 歳入

（単位：円）

項目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	摘要
1 負担金	223,000	223,000	0	由利本荘市より
2 諸収入	1,000	1,000	0	預金利息等
合計	224,000	224,000	0	

2 歳出

（単位：円）

項目	本年度 予算額	本年度 予算額	比較増減	摘要
1 事業費	222,000	222,000	0	網形成計画事業の実施 分科会の開催
2 返還金	1,000	1,000	0	由利本荘市へ
3 予備費	1,000	1,000	0	
合計	224,000	224,000	0	

※ 1. 事業費は、網形成計画（第二次）の事業推進経費並びに事業検証・検討に係る分科会開催経費

※ 事業完了後に残額が生じる場合は市へ返還する（戻入処理）

乗り[逢い]交通事業の運行内容の変更について
(石脇地区「石脇新山乗合タクシー」)(案)

議案第4号

【運行の概要】

目 的	・高台に位置する当該地域は、町内の中にも起伏があり高齢者にとって徒歩や自転車で移動するのが難しい状況にある。 ・そのような中、買い物や通院するための最低限の「生活の足」を確保するため乗り合いの移動手段を導入するもの。 ・当該地域のうち、本事業を利用したいという住民を募り、任意組織を設立して運営していくもの。
運 営	・「石脇新山乗合タクシー」利用者会
運 行 パターン	・乗合タクシー (道路運送法第4条「一般乗合旅客自動車運送事業」)
運行範囲	・別紙のとおり
運行概要	【運 行】・毎週「火曜・木曜」(祝日も運行可) 毎月20日、30日のマックスバリュ特売日 ・自宅までの送迎 ・1乗車(片道)【変更前】400円 【変更後】350円 ・(市内行き) 1便 9:20 (戻り) 2便 10:30／3便 11:45／4便 14:30 ・利用者は運行の2時間前までに電話で予約する 【乗降所】村井商店付近 大町交差点付近 マックスバリュ本荘中央店 【目的地】本荘第一病院(追加) 【開 始】令和4年8月初旬より 【利用者】「石脇新山乗合タクシー」利用者会の会員 【委託先】光タクシー(株) 【予約先】光タクシー(株)
接続する 交通網	・羽後交通「路線バス」 ・市コミュニティバス「循環バス」
配慮すべき交通網	・路線バス各路線がマックスバリュ本荘中央店に隣接する「岩渕下」や本荘第一病院を通過しているので、目的地として利用頻度の多い由利組合総合病院までの接続ポイントとなり利用促進の位置づけとなり得る。 ・上記同様に循環バスのバス停もあることから市内各所への移動も可能となり利用促進を図ることが可能となる。
期 間	・令和4年8月初旬より改正し運行する
運行車両	・委託先事業者のタクシー車両 ・乗用タクシーと区別するためのマグネットシートを貼り運行する

変更内容（案）



＜事業形態＞

- ・不特定の方（予約制も含む）が1つの運行に乗り合える一般乗合旅客自動車運送事業であり、事業区分上は路線バスと同じものとなる。
- ・利用者の少ない場所で需要に応じてタクシー車両などの小さな車両で運行されることが多いパターン。
- ・認可を受けたルートや区域を運行し、乗り合うことでメーター料金より安くすることができる特徴がある。

＜運賃単価＞

- ・乗り[違い]交通事業のルールにより、「運行委託料単価」を「乗車定員」で割った金額を1乗車運賃とする。
- ・運行委託料単価は委託先タクシー会社による見積額で算出している。
- ・見積額メーター料金に加え、運輸局への認可申請事務手数料や日々の運賃収入管理費が含まれている。

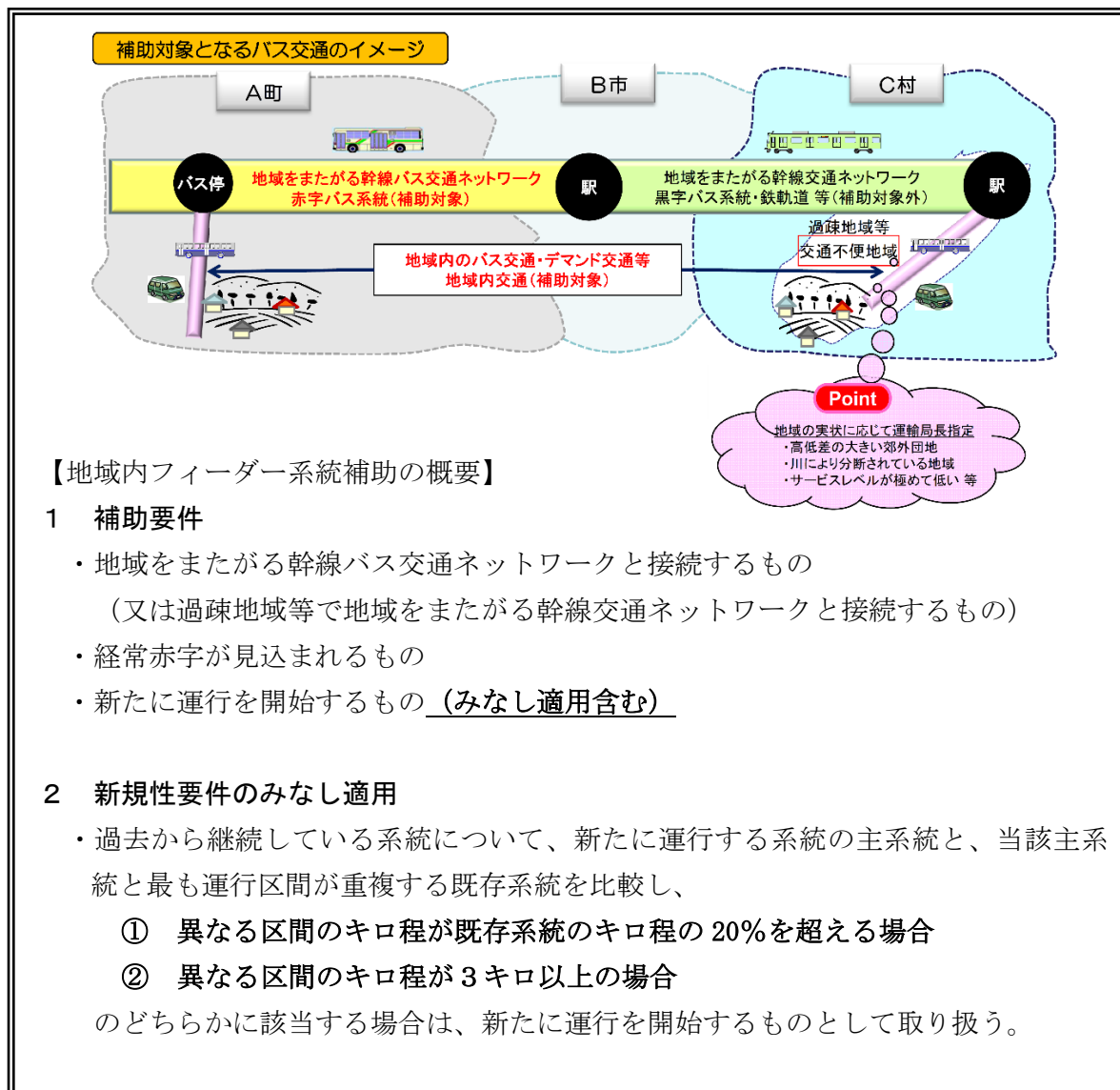
＜市補助金＞

- ・乗り[違い]交通事業のルールにより、運賃収入と同額を市補助金として交付するが、運賃と補助金の合計額が委託料を超える場合は補助金を減額する。
- ・逆に、運賃収入と市補助金で委託料を賄えない場合は運営主体負担となる。

令和 5 年度 生活交通確保維持改善計画（案）について

次の路線を、地域内フィーダー系統補助対象とし、国の支援を受けようとするものであり、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第 18 条で準用する第 8 条の規程により生活交通確保維持改善計画策定のため、協議会の承認を求めるものである。

	本荘地域循環バス（2 系統）	羽広-軽井沢線（3 系統）	
＜既掲載路線13 系統＞	中田代線	道川北線	西目線
	子吉線（3 系統）	八塩線	法内線



令和 5 年度
生活交通確保維持改善計画
(地域内フィーダー系統確保維持計画を含む)

(策定年月日) 令和 4 年 6 月 2 9 日

(協議会名称) 由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会

生活交通確保維持改善計画の名称

由利本荘市地域内フィーダー系統確保維持計画

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

由利本荘市は、秋田県の南西部に位置し、北は秋田市、南はにかほ市、東は大仙市、横手市、湯沢市、羽後町に接しており、面積は 1,209.60 ㎢ で、秋田県の面積の 10.4% を占め、県内一の面積を誇る。

本市では鉄道 2 路線とバス 31 路線の公共交通網が形成されており、鉄道は日本海沿いに J R 羽越本線が本荘、岩城、大内、西目地域および市外を、子吉川に沿って山間部を運行する由利高原鉄道鳥海山ろく線が本荘、由利および矢島地域を結んでいる。昨年度リニューアルした羽後本荘駅では、これらの鉄道路線だけでなく各種バス路線と接続しており、相互の乗り換えが可能である。また、本市におけるバス路線は幹線を羽後交通（株）、支線を市のコミュニティバスが運行しており、中心市街地内では循環バスも運行している。

これまでは、羽後交通（株）の不採算路線を市が代替運行することで路線の確保に努めてきたが、過疎化や人口減少、高齢化の進行によって交通空白地域から公共交通の運行要望が増加しており、新たな対応・対策が必要になってきている。

<地域公共交通確保維持事業により、運行を確保・維持する運行系統の概要>

本荘地域循環バス	J R 羽越本線、地域間幹線系統「象潟線」、「急行秋田線」と羽後本荘駅で接続する。
道川北線	J R 羽越本線、地域間幹線系統「急行秋田線」と道川駅で接続する。
西目線	J R 羽越本線、地域間幹線系統「象潟線」と西目駅で接続する。
中田代線	J R 羽越本線、地域間交通ネットワーク路線バス「岩谷線」と羽後岩谷駅で接続する。
羽広一軽井沢線	J R 羽越本線、地域間交通ネットワーク路線バス「岩谷線」と羽後岩谷駅で接続する。
子吉線	J R 羽越本線、地域間幹線系統「象潟線」、「急行秋田線」と羽後本荘駅で接続する。
八塩線	地域間交通ネットワーク路線バス「急行横手線」、「東由利線」と道の駅東由利で接続する。
法内線	地域間交通ネットワーク路線バス「急行横手線」、「東由利線」と道の駅東由利で接続する。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

前期の「由利本荘市地域公共交通網形成計画」において、交通空白地域の解消を図るため「地域拠点を核としたフィーダー交通の導入」を推進し、その目標を達成している。令和2年4月に策定した次期計画である「由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）」においても「地域内幹線であるコミュニティバスの運行と維持」として地域内のフィーダー交通の運行と維持を事業の一つとして掲げていることから、次のとおり目標を定める。

（由利本荘市地域公共交通網形成計画（第二次）P31、32 参照）

各系統の輸送人員による事業目標

系統名	実績	目標（年間輸送人員）			
	令和3年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
本荘地域循環バス	22,489 人	23,000 人	23,000 人	23,000 人	
道川北線	250 人	250 人	250 人	250 人	
西目線	2,070 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	
中田代線	8,437 人	8,400 人	8,400 人	8,400 人	
羽広－軽井沢線	1,846 人	1,800 人	1,800 人	1,800 人	
子吉線	1,980 人	2,000 人	2,000 人	2,000 人	
八塩線	2,182 人	2,100 人	2,100 人	2,100 人	
法内線	722 人	700 人	700 人	700 人	

(2) 事業の効果

本荘地域循環バス	双方向運行を行うことで、待ち時間と乗り継ぎの不便さの解消を図り、利用促進と新たな利用者の掘り起こしを含めた利用者数の増加が見込まれる。
道川北線	地元協議を重ね、一定の利用者が見込まれるほか、これまで直接行くことができなかった住民の利用ニーズの高い施設へ直接行けるようになる。
西目線	町内要望へ対応した運行経路の変更・延伸による、新たな利用者の掘り起こしを含めた利用者の増加。
中田代線	路線バスの廃止区間を補完した生活に欠かせない路線として、市のコミュニティバスを運行し、補完・維持していくもので、地元協議を重ね、地域の足の確保が図られる。
羽広－軽井沢線	市コミュニティバス「軽井沢スクールバス線」が地域の小・中学校の統廃合のためスクールバスへの混乗が取りやめとなり、同路線と市コミバス「羽広線」を統合した路線として開設する。地元協議を重ね、結節点である道の駅まで直接乗り入れられるようになるなど、利便性を考慮した路線設定とダイヤ編成を行うことで、利用促進が図られる。
子吉線	利便性を考慮した路線設定とダイヤ編成を行い、これまで直接行くことができなかった利用ニーズの高い施設に行くことができるほか、他地域へのアクセスに関する利便性が向上する。
八塩線	これまでの路線バスの代替えとして運行することにより、地域住民の生活の利便性を維持できるほか、フリー乗降区間を設けることでさらなる利便性の向上に繋がる。
法内線	通院や買い物の移動手段として一定の利用者が見込め、交通空白地域の解消が図られる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

本市の公共交通を取り巻く状況は、人口減少や高齢化による利用者の減少のほか、市街地が面的に広がっている地域や、山間部などでは、居住地が点在している地域があるなど状況が異なっているため、各地域の検討委員会等で利便性向上と積極的な利用の促進を図るための対話をを行い、市・交通事業者・地域住民が一体となり取り組む。

また、持続可能なネットワーク形成に資するため各路線の便ごとの乗車データを収集し、利用率の良い便や悪い便の分析を行い、よりニーズに沿ったダイヤ編成を行う。

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

表 1 のとおり。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者

- ・羽後交通株式会社、光タクシー株式会社、東交通株式会社

〔 由利本荘市から上記運行事業者への委託料については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。 〕

- ・由利本荘市

6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

羽後交通株式会社

光タクシー株式会社

東交通株式会社

由利本荘市

7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】

※該当なし

8. 別表 1 の補助対象事業の基準二ただし書きに基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

9. 別表 1 の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

1 0. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項
【地域間幹線系統のみ】

※該当なし

1 1. 外客来訪促進計画との整合性
【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】

※該当なし

1 2. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要
【地域内フィーダー系統のみ】

表5のとおり。

1 3. 車両の取得に係る目的・必要性
【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

1 4. 車両の取得に係る目標・効果
【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

1 5. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の負担者【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

1 6. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）
【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

1 7. 貨客混載の導入に係る目的、必要性
【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

1 8. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果
【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

1 9. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

※該当なし

20. 協議会の開催状況と主な議論

【由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会】

- ・平成27年5月19日 由利本荘市平成28年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・平成28年2月10日 同計画の変更について承認
- ・平成28年6月29日 由利本荘市平成29年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・平成29年6月15日 由利本荘市平成30年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・平成30年6月22日 由利本荘市平成31年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和元年6月21日 由利本荘市令和2年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和2年7月10日 由利本荘市令和3年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和3年6月24日 由利本荘市令和4年度生活交通確保維持改善計画を承認
- ・令和4年6月29日 由利本荘市令和5年度生活交通確保維持改善計画を承認

21. 利用者等の意見の反映状況

- ・由利本荘市地域公共交通活性化再生協議会への利用者代表の参加
- ・利用者目線に立ったワークショップの開催、沿線町内会や各種団体と対話会の開催
- ・「利用者アンケート」を行いダイヤ改正に反映

22. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	秋田県交通政策課長 秋田県由利地域振興局総務企画部長 秋田県由利地域振興局建設部長
関係市区町村	由利本荘市長 由利本荘市企画振興部長
交通事業者 交通施設管理者等	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社長 由利高原鉄道株式会社代表取締役社長 羽後交通株式会社取締役社長 (一社) 秋田県ハイヤー協会本荘由利支部長 由利本荘警察署長
地方運輸局	東北運輸局鉄道部長 東北運輸局秋田運輸支局長
その他協議会が必要と認める者	由利本荘市商工会会長 由利本荘市観光協会会長 秋田しんせい農業協同組合代表理事組合長 (一社) 由利本荘医師会会長 由利本荘市教育委員会教育長 由利本荘市校長会会長 由利本荘市PTA連合会会長 由利本荘・にかほ地域生徒指導研究推進協議会高校部会長 由利本荘市身体障害者協会会長 由利本荘市婦人団体連絡協議会会長 由利本荘市老人クラブ連合会会長 (公社) 由利本荘青年会議所理事長 鳥海山ろく線運営促進連絡協議会会長 8地域の公共交通利用者 秋田大学・秋田県立大学の准教授

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 秋田県由利本荘市尾崎17

(所 属) 由利本荘市企画振興部地域づくり推進課

(氏 名) 田口 侑樹

(電 話) 0184-24-6378

(e-mail) tiiki@city.yurihonjo.lg.jp